

令和4年度第3回千葉市文化芸術振興会議議事録

市民局生活文化スポーツ部文化振興課

1 日時

令和4年9月26日（月） 14時30分～

2 開催場所

千葉中央コミュニティセンター 10階 101会議室

3 出席者

（委員）神野委員長、種谷副委員長、椎原委員、関委員、高梨委員、沼田委員、桜井委員、谷委員

（事務局）神田生活文化スポーツ部長、小名木文化振興課長、川口文化振興課長補佐、松田文化振興班主査、安藤主任主事、鈴木主任主事

4 議題

（1）芸術祭基本構想について

5 議事の概要

（1）芸術祭基本構想について

芸術祭基本構想について、意見交換を行った。

委員からは以下のような意見が挙げられた。

○開催目的が漠然としている印象がある。芸術祭は都市や産業の問題解決の中で生まれてきているので、地域の関わりや醸成などを目的にしたらいかがか。

○劇団など、文化芸術団体が、持続的に千葉で活動が行われていくという状況を作るための視点が重要。

○マイクロビジネスが根付くようなまちづくりをしていくために、千葉に足を運んでもらうことや、人との関わりなど、芸術祭に関わる地域の人たちがその関係をより重視してもらえるようになると良いと思う。

○違った分野の人達と集まれる場を提供することで、そこから新しいものが生まれる可能性がある。また、千葉で開催することで地元の作家への支援になると考えられる。

○市民という主語をもう少し強調した方がいいのではと思う。

○海と緑と都市、すべて揃っていることが売りになるが、散漫になる可能性もあるので、開催年によって焦点化したほうが良いのではないか。

○千葉市のアイデンティティがどこにあるか考えると、歴史があった場所が該当するのではないかと考えられる

○芸術にはエンターテインメントの側面だけではなく、体験をした人たちが今後世界をどう捉えていくのか考えるような、深い体験であることが必要。

○未来志向のアイデンティティがあると良いと思う。

○活動が持続的に行われるような施設としてのあり方が重要あり、芸術祭を継続開催するのであれば、そこの連携が必要になってくると思う。

○開催するにあたって千葉市の過去・現在が示されたうえで開催する方が、表層的にただ開催するわけではないということが、市民の方に理解していただけるのではないか。

○芸術祭を継続していくのであれば、歴史をどう残していくかということが重要。